



松工進路だより

— Vol. 5 —
令和元年 7月 27日 発行
松江工業高校 進路部

クラスに大学・短大、専門学校の情報誌を配布しました



7月9日（火）の放課後に大学や短大、専門学校の進学説明会を実施予定でしたが新型コロナウイルス予防のために中止としました。その代替として各クラスに西日本地区の大学・短期大学、専門学校の情報誌を配布させていただきました。巻末にあるハガキに記入し送付すれば、後日自宅に資料が届きますので、じっくりと希望する学校の進学に対する理解を深めてもらえればと思います。3年生にはこれからの進路決定の参考に、1・2年生には来年以降の参考にしてください。



求人票を読み込もう

「求人票を見なくてはい！」と思うものの、どこをどう見たらいいのかわからないという人もいます。そんな人は「進路の手引き」のP11～P16を開いてみてください。P11～P14には求人票の表面（「1 会社の情報」「2 仕事の情報」「3 労働条件等」）の見方が、P15～P16については裏面（「4 選考」「5 補足事項・特記事項」「6 青少年雇用情報」）の見方が解説してあります。



求人票の見本も載っていますので、どこに何が書かれているのか、またどのように読み取ることができるかがしっかりとわかるはず。わからないまま読み流さず、ポイントを押さえて読み、それでもよくわからないところは先生に聞いてみて納得のいく志望先を決めましょう。

進学情報（島根大学・島根県立大学）

県内にある大学の入試制度が大きく変わりましたのでお知らせします。

①島根大学

総合理工学部では、「大学共通テストを課さない入試」として「へるん入試」という新しい入試に変わります。「へるん入試」は入試内容により「へるん一般型」と「へるん特定型」とに分けられます。また、「へるん特定型」は「へるん一般型」の試験内容に加えて、それぞれの入試ごとに「付加評価項目」での評価がなされます。例えば「地域志向入試」は各学科に山陰出身者の受験枠があり、「地域志向レポート」に基づく面接がなされます。また、「専門高校入試」では知能情報デザイン学科や機械・電気電子工学科の受験者にはそれぞれの高校での取得資格に沿って加点評価がなされます。建築デザイン学科の受験者は「芸術・技能・スポーツ技能入試」での受験となり、一般型の配点を上回る実技への評価点があります。他の条件、どの入試が自分に向いているのかなど、担任の先生にも相談してみましょう。

②島根県立大学（浜田キャンパス）

これまでの総合政策学部に代わり、国際関係学部・国際関係学科、地域政策学部・地域政策学科が新設されました。入試制度も大きく変わり、「大学入学共通テストを課さない推薦入試」が行われることになりました。学校推薦型選抜に加え、総合型選抜（自己推薦）での定員も増加します。特に地域政策学科の地域づくりコースでは高校でのリーダーシップの経験をアピールする「リーダーシップ入試」、また学校推薦型選抜として「連携校推薦」ができました。「連携校推薦」は①県内の高校生を対象とする、②地域づくりに関するテーマでプレゼンテーションをする、等が特筆すべきところです。地域の抱える問題に目を向けて自分の考えを述べられるかを問われます。